

2023年9月22日
日本化粧品工業会

日本国内で製造される化粧品の安全性に関する日本化粧品工業会の見解

現在、福島第一原子力発電所のALPS処理水の海洋放出が行われています。これに関連して、日本国内で製造される化粧品の安全性に関する日本化粧品工業会の見解は以下のとおりです。

福島第一原子力発電所 ALPS 処理水の海洋放出に際して、日本政府等では以下のような取り組みを行っています。

- ①ALPS 処理水は、福島第一原子力発電所の建屋内にある放射性物質を含む水について、トリチウム以外の放射性物質の安全基準を満たすまで浄化し、トリチウムについても国際的な安全基準を十分に満たすよう海水で大幅に薄めた後に海洋放出をしています。
- ②原子力について高い専門性を持つ国連機関である国際原子力機関(IAEA)も海洋放出は科学的根拠に基づくもので、国際慣行に沿うと評価しており、海洋放出に際しては、IAEA の安全基準が守られているか厳しくチェックしています。
- ③海洋放出の前後で海の放射性物質濃度に大きな変化が発生していないか、IAEA の研究所や IAEA の第三国にある研究所、日本原子力規制委員会(JAEA)大熊分析研究センター等、複数の第三者機関が確認しています。

したがって、ALPS 処理水の海洋放出後においても日本国内で製造される化粧品の安全性に問題はなく、これまでと同様、安心して使用していただけます。

日本化粧品工業会は、今後も日本政府等から公表される最新の情報等を注視しつつ、化粧品の安全性確保を最優先に活動を進めてまいります。